「M 情報デスク」サポート団体
救う会大阪　NO！民主桜組
米国に原爆投下謝罪を求める会
大阪の公教育を考える会
スパイ防止法の制定を求める会
外国人参政権に反対する会・関西
日教組の違法行為を追及する市民の会
竹島を奪還する会・関西
靖国神社に眠る御霊に感謝する会

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT

現場より発信！

No. 144-3
【発行・編集】
MASUKI情報デスク
増木直美
大阪府豊中市上新田2-6-25-113
TEL　090-3621-1509
FAX　06-6835-0974
http://mid.parfe.jp/
mid@jewel.ocn.ne.jp

橋下市長の発言、何がアカンの？

ワレ奇襲に成功せり、トラトラトラ！

5月24日昼前、ワガ機動部隊は大阪市役所前、橋下市長を応援せんと、敵、赤い鼠に奇襲攻撃を敢行。一匹残らず撃墜した。

先ず、10:30（ヒトマルサンマル？）ワガ機動部隊は市役所前に到着。市役所前広場を大阪府警がきれいに掃海済み。「さあどうぞ」と言われたのでマスコミ用に10分ほどおつる隊員が機銃掃射。口から泡を吹いてTVカメラ相手に機関砲を撃ちまくる。そして、府警の護衛、先導つきで御堂筋対岸に転進。道幅約30m。そして主砲30vトラメガ2台で吼えまくる。おつる（いつも遅刻するのに今日はなぜか早い）、山道、岡田、西谷、セレブ酒井（彼女の人生設計に「街宣」はなかったはずだ）、田口、山田、山内・・次々に急降下爆撃。やりたい放題。途中赤い鼠の局地戦闘機の迎撃に会うも即撃墜！　最後に不肖増木が「橋下、がんばれ～～～。」「橋下、負けるな～～～。」ついでに8階（議長室）めがけて「議会は橋下市長を護れ～～～」とシュプレヒコール。途中で、赤い鼠の親玉が「何時頃までされるんですか。」とやってきた。「18時まで許可取ってるから」とだけ言った、もちろん18時までできるわけはないが。赤い鼠軍団の計算外は、道路使用の許可を取った連中（我、機動部隊）がいたということ。だから警察に排除され市役所正面に近寄れない。ざまあみやがれ！

12:00 作戦終了、赤い鼠もほぼ壊滅。警察に丁寧にお礼を言って、ワレ帰投す。

今回の作戦の目的は、赤い鼠を一匹も市役所前で気勢をあげさせないことにあった。そのための捨て身戦法である。赤い鼠は人の鎖（約400名）で市役所を取り囲み橋下攻撃をやると公言していた。ところが敵もさるもの、道路の端に行儀よく1列に整列するから道路交通法（通行妨害）で警察が排除しにくく、せいぜい警告どまり。そこへ私が道路使用の許可を申請した。赤い鼠と我々が接触するわけだから当然騒乱に発展する危険性がある。だから警察は両方を排除。赤い鼠は市役所横の公園に押し込められ、我々は道路の反対側に（一応）押し込められた（格好になった）。警察とは1週間前から綿密な打ち合わせをしたが、これだけきれいに駆除（赤鼠の排除）をやってもらえるとは思わなかった。要は、我々15人ほどで、400人を追っ払うというウルトラCをやったのだ。今回の反省点はもう30分早く行くのだった。その30分で赤い鼠軍団はマスコミの取材を受け、TVに流す画を作られてしまった。

我々が現場に行かないことには混乱の危険性がないから警察は排除できない。われわれの画は毎日系「ボイス」で、おつるの演説が5秒くらい流れたらしい。赤い鼠の演説は10秒・・・

さて、本題。橋下市長が言ったのは①強制連行はなかった。②どのような事情があったにせよ大変な思いをされたわけだから、いたわりの心が必要。我々が「甘い」というならわかるけど、どこがいけないの。沖縄での発言も、批判するなら代案を出せ。夜間外出禁止にしても一週間後には事件を起こす連中。

24日、元慰安婦は自分らが申し込んでおいてドタキャン。橋下が謝罪すると思ったのにしないから計算違い。逃げたのだ。専門家（弁護士）橋下の反対尋問に耐えられないからだろう。

【中山成彬先生ツィッター】
橋下市長の外国特派員協会での映像を見た。一皮剥けた顔をしている。大変だったと思うがよく頑張った。男子3日見ざれば刮目して見るべし。ナルホド！　深い。マスキ

H25-5-24　大阪市役所前　不肖マスキシゲオナニ!?　左翼よりわれわれの方がうるさいって。許せ！　「橋下ガンバレ」と言っているのだから。

「M 情報活動報告」編集指針；政治や国際問題、市民活動に全く無縁だった一般の人達に、「おばちゃん語」で政治を届ける

政治家の発言の真意

元（東京都）中央区議会議員　一瓶文隆

橋下徹「日本維新の会」共同代表の「風俗」発言に思う

私は妻からいつも「愛情表現が下手」と言われる。「日本人なのだから言葉がなくとも心で通じるだろう」と私は反論する。しかし税理士として顧問先の経営者に税法や財務報告を説明したり、税務署と論戦したりする時にそうは言っていられない。まして、平成11年東京都中央区議会議員に初出馬、初当選してからの地方議員としての政治活動においては「ことば」で自らの意志を伝え堂々と論戦を張らなければならない。議会では一般質問や委員会質問のやり取り、街頭や講演会では有権者に自分の政策や考えを伝えるため、言葉を尽くしてきた。しかしそのような場合の多くは目の前に相対する人がいて、目を見て、あるいは表情や全体の雰囲気を感じながら「本当に私の言いたいことが伝わっているのだろうか？」「私の真意を理解していただいているだろうか？」と考えながら話をすることができた。それが、ブログやツイッターなどでは、なかなかそうもいかない。これらは双方向コミュニケーションツールと認識されてはいるが、発信者と受信者による「文字」のやり取りである。ましてやマスコミを通しての発信で真意を伝えることは更に困難になる。報道における伝達では、多種多様な情報を整理し分かりやすく簡潔に伝えることや、逆に溢れる情報の波から小さな出来事をすくいあげ広く伝えることが可能だ。ただしこの時、もともとの発言者の言葉は、第三者である報道機関の取捨選択と編集を介して発信される。前後の文脈や切り取られ方によっては、「発言の真実」を多くの国民に伝えることは難しい。

今回の橋下徹日本維新の会共同代表の一連の発言も、沖縄を訪問しての米軍兵士の止まらない事件を何とかしなければならないとの思い、従軍慰安婦問題においても、捻じ曲げられた事実をしっかりと世界に発信し、真実を伝えなければならないとの思いによるものであろう。

私は沖縄が大好きだ。スキューバダイビングが趣味で世界の海を潜ってきたが、沖縄の海が一番きれいだと思う。また保守系地方議員の超党派の有志で組織する草莽全国地方議員の会（会長松浦芳子杉並区議会議員）の会長代行として、沖縄の真実を知りたいと同志の地方議員と共に「集団自決の真実」を取材し、国境の島「与那国島への自衛隊配備」の必要性の現状を視察してきた。

沖縄本島の那覇に寄るときは必ず沖縄護国神社と旧海軍司令壕を参拝する。私は、犠牲になられた沖縄県民に対して、哀しく辛い経験をされた方々に対して、なんとか報いなければならないと思う。

まっとうな政治家なら、現在も起こり続ける米兵による県民への暴行事件に、どうにかして対策を講じなければならないと思うのが当たり前であろう。遺憾の意を伝えたり、再発防止を申し入れるだけで、おそらく具体的な対応が何一つ日本側からは提案されていないのではないだろうか。橋下共同代表が、指令官の「ボーリング、キャンプファイヤー、バーベキューなどで、性犯罪をなくすように色々と努力している」との答えに、そんなことで本当に無くなるのか、「風俗を利用したら」と。言葉は適当ではなかったかもしれないが、具体的な発言をしたのである。「政治家は評論家であってはならない」。だから私は橋下発言は政治家として当然と思う。

「風俗」といっても業種は大変に幅広い。認可制営業として接待飲食等営業の1号営業（キャバレー）その他2～8号まで（ダンスホール、パチンコ店、ゲームセンターなど）。テレビ報道のコメンテーターの「風俗とは無縁」であるかのような態度に「ゲームセンターに行ったことはないのか」と言いたくなった。

私は地方議員として「国がダメなら地方がやる」との志で全国を飛び回った。「沖縄の集団自決の真実」についても鈴木正人埼玉県議と共に、座間味島の宮平秀幸さんを取材し、「軍の命令」はなかったという真実を知った。宮平さんは座間味島でペンションを経営、昭和20年3月当時15歳の元防衛隊員で、集団自決が行われた時の座間味島の様子を知る数少ない証人だ。座間味島軍命令説は戦後の援護金（遺族年金）が目的で創作されたものと断言していた。この事も、沖縄から伝わる一部報道だけを信じていると「軍の命令だった」とねつ造されたものを事実と勘違いしてしまう。

マスコミのニュースを介してのみ沖縄を理解していると、沖縄を反米、反日の県だと誤解し、精神的に分断され、沖縄を失い、日本を失うことにもなりかねない。だからこそ、国会議員は沖縄に行き、本当の声を聞き感じなければならない。

日本最西端の国境の島「与那国」は日帰りでも視察は出来る。私も実際に領土議連の国会議員の案内役として日帰り視察に同行した。日本の領土領海を守るべき最先端の島で、2か所の駐在所の警察官2人が拳銃2丁で国境の島を守れるのだろうか。それが、主権をもった国家と言えるだろうか。自立した国家をつくらなければならない。その為には、国民が自立しなければならない。

私は「海の国、日本の創生」という政策を掲げている。日本は世界で6番目に広い「海」を持つ海洋国家なのだ。豊富な漁業資源に加え、メタンハイドレード等の海底資源も多く眠っていることがわかってきた。毎年「浜のかあさんと語ろう」というイベントに協力しているが、これは都内小学生の親子が、日本各地の漁村のかあさんたちにお魚料理を学び、休みには漁村にホームステイして体験学習をするものである。今年は「国境の島を学ぶ」というテーマで、都内の小学5年生が長崎県対馬と沖縄県与那国島について学習、6人の代表児童にこども記者として現地取材をさせ発表会を開催した。

取材同行した網元さんの話では国境の海の現状を知ることができた。彼らはいつも中国や韓国の監視船や漁船との緊張状態の中で漁をしている。日本の海上保安庁の巡視船も巡回しているが広い海の上では限りがある。むしろ、日本の漁船が漁をしていることがこの水域は日本の領海だとの明確な意思表示にもなり国境を守ることになる。船舶無線を全ての漁船が配備すれば、日本の漁業水域に侵入してきた外国船の情報を通報できる。それだけでも大きな抑止力になる。

《次頁4段目へ↓》

今度は恭子議員だ！

4月27日、大阪市中央区、エル大阪で「NPO法人百人の会」の総会が行われ、中山恭子参議院議員が「教育を語る、親として、母として」と題し、基調講演を行った。また、引き続き、「親は何をするの？学校って治外法権？」と題し、中山恭子ベテランお母さん、酒井みどり中堅お母さん（兵庫）、岩井里絵新米お母さん（大阪）、そして、府立八尾高校岡田雅先生も参加され、コーディネーター 和田有一朗兵庫県議でパネルディスカッションが行われた。

最後に池田博義理事から、学力体力全国1の福井市教委（内田高義教育長）訪問の報告があった。

実は私（増木）が百人の会の事務局長を仰せつかっているのだが、先生の秘書と講演の打ち合わせの際、秘書の方は「拉致問題のことを少し話してもいいですか」と仰った。そこで私は、「恭子先生と言えば拉致。拉致問題をきちっとすることが最大の教育ではないですか。」と申し上げた。そして当日、先生を新大阪駅までお迎えに出た池田理事が会場への道中、「初めに拉致の現状を簡単に話してください。」と念を押した。そしてご講演。

それが拉致の話ばっかりでいっこうに教育の話にならない。今日は「百人の会」の総会で、救う会の集会ではないぞ。」と思っていたら、拉致の話や、ウズベキスタンの話を題材にし、きっちり教育のあり方、教育の何たるかを、いつものあのやさしい、上品な、しかも凛とした口調で語られていた。「さすが」としか言いようがない。恭子先生のご講演要録は後述。

2部では自分自身も親であり、「いろいろ苦労をしている。」という和田先生の愚痴から始まった。

「親とは何か」という質問に、恭子先生は「愛ではないでしょうか。」岡田先生は「考えたことはないが、後姿かな」。岩井さんは「やっぱり愛だと思います。

必死で進行を勤める和田議員。顔を上げている写真が1枚もない。

酒井さんは「愛情と厳しさだと思います。」話は最初からヒートアップ。続いて「親の役割は何でしょう。」という問いかけに、酒井さんは「子供の権利とか、事の善悪の区別が付いてない子にそういうことを言ってしまうと、単にわがままな子になってしまう。

《下段後半へ↓》

海上保安庁巡視船、艦長と与那国島にて

《↓前頁末尾より》

政治家は、真実、真意を伝えるための言葉を心して発言しなければならない。

||||||||||||||||||||||||||||||||

《↓上段末尾より》

だから『しつけ』が大事。

岩井さんは「まず健康第一。そして人に恥じない子に育てたい。」などと話していたら、酒井さんが爆発。「教科書がおかしい、修学旅行もおかしい。」と止まらない。

和田議員は「神戸空港の飛行機の発着稼動率を上げるため、修学旅行で生徒を沖縄へ行かせる」などと。岡田先生は「電車にきちっと乗れ！」と切れる！

「親の役割」・・どこかへ行ってしまった。後は動画をご覧ください。いや、お楽しみください。

4月27日、エル大阪「NPO法人百人の会」の総会
中山恭子参議院議員ご講演要録
「教育を語る、親として、母として」

皆様こんにちは。今日、教育再生地方議員100人と市民の会ということですので教育の問題をしっかり語らねばならないのかとは思っているんですけれども、私自身教育の専門家というわけではありませんので、自分がこれまで経験して来たことをお話し、皆様のお考えの何かの参考にして頂けたらとその様に思っております。

今、司会の方から拉致問題についても話して欲しいと事でございましたので、先ずそこから。

私は2002年から拉致問題に関わるようになりました。それまで私自身、中央アジアの大使を務めておりまして、中央アジアのことだったら自信をもっていろいろ語れる、仕事も出来ると思っていましたが、北朝鮮については正に素人でございまして、この問題を扱っていいんだろうか随分悩みました。成彬に相談しましたら、「君がやるしかないだろう。」と、いとも簡単に言われてしまいました。

この拉致問題、語り始めましたらそれぞれのところに大変重い話がございまして、何時間尽くしても語りきらない、そういうテーマでございますが、今日はその中のごく、本当に掻い摘んだこととなりますがお伝えしたいことをお話していくつもりであります。

この拉致の問題に関わりました当初から、なぜ外国の工作員が自由にと言ってもいいほどいとも安々と日本に入って来る。何故日本という国は外国からの工作員を安々と入れるような状況なのだろうか。しかも入ってきて日本の国民を大きな、例えば木の陰に、これは曽我ひとみさんのケースですが連れ込んで、そこから後は母親がどうなったか全く分からない。

北朝鮮に行ってから、母親はどうしたかと聞いたら、佐渡に帰して元気でいますよと、そのように教えられてきたということでございました。

そんな事もあって、ついでで申し上げますと、そのタラップを降りて来る時に5人ともいろんな思いがあったんですが、曽我ひとみさんの場合は、母親はすでに日本に帰したと北朝鮮の人から言われてるもんですから、あの曽我さんの瞳、中に写真が入っているかと思いますが、非常にきつい顔をして笑みも全くありませんでした。あれはもう必死で母親を捜していた、そういう目だろうと、下から見てですね、一瞬、胸がつかえるような感じを受けたことがございます。

そしてこの北朝鮮の拉致問題、勿論被害者は大変可哀想、ご家族の方もほんとに苦しい思いをされている。ところがそれだけではなくて、国家というものを日本の人々に思い起こさせてくれた。そういう問題である考えております。

歴史を思い出して頂けたらと思いますが、昭和20年、これは敗戦の年です。そして1952年4月28日にサンフランシスコ講和条約が発効して日本は独立したんですけれども、この時朝鮮半島で何が起きていたかというと、1950年～53年、丁度この昭和25年から28年にかけて朝鮮戦争がありました。覚えておられる方も多いかと思います。で、53年に朝鮮の中では休戦協定が結ばれます。休戦協定があれば、そこから一ヶ月後とか少なくとも半年以内に講和条約、平和条約が結ばれる。ところが朝鮮半島の中では1953年に休戦協定が結ばれたまま講和条約が成立せずにずっとそれが今も続いています。

北朝鮮は、「一旦休戦しているのみ」という感触をもっています。1953年以降北朝鮮は韓国に対して何としても併合したいという強い思いを持ち続けてきています。ですから北朝鮮は韓国に対してその後あらゆる形の工作活動を重ねます。この工作活動をするに当たって必要なのが日本人ということです。

日本人拉致の主な目的は韓国に対する工作活動に日本人を使おうとしていたと考えています。何故かと云うと北朝鮮の人が韓国に入って工作活動をするという事は非常に難しいそうです。生活習慣は一緒なんですが言葉が違うそうでして、すぐに見破られてしまう。そのために、韓国にいつでも入れる、または世界中何処にでも入れる日本人に成り済ます、又は日本人を工作員として使う、そう考えたようでした。

1960年代半ば頃に北海道、それから東北地方を主として、高校を卒業するかしないかの若者達が姿を消しています。日本政府は全く証拠がないということで拉致の認定が出来ていません。これが60年代に多く見掛ける事案です。

70年代半ばぐらいになってきますと、例えば久米裕さんと原敕晁さん、この二人は警察用語でハヤノリと言われていますが、何かと言うと北朝鮮工作員が日本に入ってきて自由に活動する為に自分が原敕晁さんや久米裕さんに成り替わってしまい、戸籍謄本を取りそれから住民票も取り自動車の免許証には北朝鮮工作員の自分の写真を貼り、パスポートも自分の写真を貼って世界各地に飛んでいくのです。原敕晁さんの身代わりになったのはあの有名な辛光洙という工作員で、韓国まで飛んで活動しようとして捕まって死刑宣告を受けました。ところが日本からこの中に例の土井たか子先生とか菅直人先生とかそういった方々が署名の中に入ってすごい数の人達が韓国政府にプレッシャーをかけて、韓国は辛光洙を釈放して彼は北朝鮮に戻りました。

辛光洙は北朝鮮では英雄扱いをされている。そういう状況がはっきり見えてまいります。

70年代に拉致された田口八重子さん横田めぐみさん、松本京子さん、田中実さん、こういった人々、それから78年にはアベック拉致と言われて蓮池さん御夫妻、地村さん御夫妻、増元さん御夫妻、今御夫妻ですが当時はまだ恋人どうしというアベックで拉致されています。

この人々は主として北朝鮮工作員を日本人のように仕立て上げる為に連れて行かれました。ですから典型的な日本の家庭で日本的な躾を受けた若者たち、これが必要でした。典型的な日本の家庭が真似されていたという事です。

この北朝鮮による日本人拉致というのは、激しい争いの中で使われている。海上保安庁との撃ち合いで沈んだ北朝鮮工作船、最後自爆したわけです。そういった動きですとか、大変激しい国際社会の動きの中で日本人が拉致されているという事でございます。

その中で5人が戻りました時に私自身はどんな理由であれ一旦北朝鮮から出て、日本の土を踏んだ以上、帰してはいけません、という主張をいたしました。日本政府が戻って来た5人を日本に留める。最終的には安倍官房副長官の決断を得、福田官房長官の了解をとり、小泉総

理の前で議論してその線を打ち出すことができました。事務方では大変激しい議論が闘わされました。安倍官房副長官が「ちょっと一旦休憩しましょう。」という事になりました。その時に報道関係者がたくさんいて、「何を揉めてるんですか?」という質問されました。その時私自身素直に「国家の意思の問題です。」と答えました。

　これが全国にそのまま流れました。だけどもインタビューした方は国家の意思の問題というのが何を意味しているのかも解らなかったのかも知れません。その後、国家という単語を使うとは何事かというびっくりするような非難メール、FAX、電話がたくさん寄せられました。私自身は国家という単語は当然の言葉として使いましたのですが、日本の中では戦後、国家という単語は使われない、そういう状況が続いておりました。

　2002年の10月、たったの11年前まで日本は国家という単語をもってない。国を護るとか国防という単語も使えない。国家が国民を守るというような文章は殆どなかった。そういう日本でありました。

　お蔭さまで今国家というのは当然のこととして使えますし、国家なくして国際社会に存在しえないという事も多くの方が理解して下さるようになりました。

　それでもその時5人を政府が日本に留める、そして子供や家族の北朝鮮に残してきた人々の身の安全と帰国を政府が責任をもって要求する、こういう政府方針、非常に簡単な一枚のペーパーですけれども、戦後の外交政策の中にあって非常に新しい考え、「国民を守るのは政府の責任である」この考え方が外交政策の中に入った瞬間だったと思っています。

　今、北朝鮮がどうなっているか、非常に厄介な問題です。金正日総書記の間に何とか話をつけて帰国させようという思いで努めておりましたけれども、政権交代という事が日本の中で非常に賑やかに騒がれだした頃から、北朝鮮はやはりひいてしまいました。非常に残念な思いをしたことでございましたが、そういった意味で金総書記の時に取り戻せなかった、大きな、私自身は忸怩たる思いというか、もう、悔いても悔やみきれない。今、金正恩第一書記の時代になりました。金総書記の時代に比べるとよく周りを取り囲んでいる将軍達、軍の関係者というのもそれ程国際社会での経験があるわけではありません。その外交としてまた北朝鮮とどの様に維持していくかという事についても金総書記の時に比べてもまだまだ足りていない様子が見えますので、これは非常に注意深く見ておかないといけないし、いつでも対応できる体制をとっておかなければいけないと思います。

　さらにこの問題では、中国の存在というものが非常に大きな影響力をもっておりますので、中国の動きも注意深く見て動いていかなければいけない。

****

　私自身国家というのは当たり前だという風にして何の考えもなく「国家の意思の問題です」と伝えました。それは中央アジアに（資料を出して頂けたらと思いますが）1999年から2002年、8月に退任しましたので、ウズベキスタン共和国の特命全権大使を3年間務めて戻って来たところでした。

　中央アジアという国について日本の中ではまだ殆ど知られていないかと思います。中国を挟んで西側、中国の西の国境、長い国境を接しているそこに5つの国があります。ソ連の中に含まれておりましたので、日本では「ソ連」という一括りで考えられており、それぞれの国について殆ど知らされておりませんが、スタンというのは地域、国と考えていいと思います。ウズベキスタンというのはウズベックの国、トルクメギスタン、それからタジキスタン、キルギスで5つの国があります。ウズベキスタンとタジキスタンの大使をしておりました。

　このキルギスで拉致事件、人質事件が起きたのを覚えてらっしゃいますでしょうか。1999年の8月でした。8月に着任して12日くらいの時に事件が起きました。キルギスで起きたんですが、このあたりは非常に国境が入り組んでまして、日本人の鉱山技師4人を拉致した犯人というのはタジキスタンに拠点を持っていました。この8年前、1991年にこの5つの国が独立しています。独立した後、それぞれの国の中で激しい抗争がありました。

　ウズベキスタンはカリモフ大統領という方の元でカザフも世俗国家です。ところがこの地域、そうですね8世紀ごろに唐とアラブが戦うことがありましてですね、唐が大敗するんです。そしてその時にアラブが入りましたので強制的にイスラム化されている地域なんです。ただ非常にラフなイスラムでして、女性達はノースリーブやミニスカートも平気で穿いてますし、所謂ラマダンという断食でも、大使館に勤務していた現地雇いの人々も平気でお水は飲みますしお昼ごはんも食べています。

　ラマダンしっかりやってる人いないのって聞いたら捜しますって言って伝えてきたのが、「居ました一人、ラマダンやってます」、警備の方もいらして4，50人いる中でそんな状態。ただ、お葬式とかそういう時にはイスラム風に、日本の仏教よりはもうちょっと違うかも知れませんが、非常に明るい人達なんですが、そのタジキスタンは独立した後、内乱状態になりました。

　イスラム国家を創りたいというその動きと世俗国家のままいこうという二つの勢力がぶつかって内乱状態になりました。その内乱状態の激しい戦闘が繰り広げられていたその一つの原因は当時アフガニスタンにタリバンとかアルカイーダができてまして、アフガニスタンと長い国境を接していますタジキスタン、ウズベキスタン、トルクメギスタンもアフガニスタンと国境を接しています。でこの一番長い国境を接しているタジキスタンにアフガニスタンイスラム原理主義グループが入っていったという事で戦闘が激しくなって内乱が収まらない状態になっていました。その内乱を戦っていたイスラム原理主義グループの者がタジキスタンだけではなくてウズベキスタンにも自分達のイスラム国家を創ろうという動きがあって、ウズベキスタンに向って行った途中、キルギスで日本人鉱山技師を拉致したという事件でした。そんな事もあってこのグループは一日か二日でタジキスタンの方へ人質を連れて自分の拠点があるところに戻ってしまいました。私自身はウズベキスタンとタジキスタンを管轄しておりましたので、自分の管轄している地域に、人質になった日本人を連れた犯人グループが入ってきました。そういう状況でしたので大変緊張しました。

　これまで戦後こういった事件が起きた時の外交政策は、その事件が起きた国にすべてを任せる、救出も責任も、あら

ゆる事を任せるというのが日本の戦後の外交のあり方でした。今回この時も同じ様に、キルギス政府にすべてを任せました。ところが犯人も人質もタジキスタンに入って来ています。国が違うところに任せても救出することはできません。私が動こうとしましたんですが、情報をとるだけでよろしい、それ以外は動くなというのが政府の方針でした。でも、イスラム系原理主義グループの動きを見れば日本人が撃ち殺される事が目に見えている情報が入ってきておりました。

　そこのウズベキスタン大使館の日本人で 10 人ぐらいしかいない小さな大使館ですけれども、偶々このアフガニスタンやウズベキスタン、タジキスタンの情報をもった若い外交官がおりまして、その人を中心にして、ほんとに若手の職員がどうしても救出したいと言ったら、僕達もやりますと言ってくれました。

　大使館の小さい中で必死で救出にあたりました。お蔭さまでこのタジキスタンの大統領、ウズベキスタンの大統領、そしてタジキスタンで内乱を戦っていたイスラム原理主義グループではない闘士と接触することができて、この方々が一緒になって日本人と現地人の人達を救出してくれました。こういった拉致事件が起きてそれぞれの国にお礼に行きましたら、「自分たちとしては当然の事をしただけですよ。」カリモフ大統領もそれぞれの方々みんな、そう言ってくれました。

　そしてその後仕事を始めました。この動きは日本では殆ど知られておりません。キルギスタン政府が救出したという事になっていますが、中央アジアの人々はみんなこの動きをよく見て知っています。そんな事もあって、その後仕事をする時にほんとに楽に出来ました。

それは、この中央アジアで日本人が何らかの被害に遭ったら大使が命懸けで救出にあたる。日本というのはそういう国なんだ、それを理解してくれました。そして確実な信頼を与えてくれました。

　そんな事もあって仕事をしていく上で、日本とは、なんて全く説明する必要はありませんでした。さらにこの中央アジアでは、もっと根っこの部分で非常に強い日本に対する信頼、親日の動きがありました。

　サマルカンダのレギスタン宮の劇場の左側の壁にプレートがあります。ロシア語、英語、ウズベギ語、日本語の４枚のプレートが掛かっていて、1945 年、46 年に極東から連れて来られた日本国民がこの建物の建設に携わり、出来上がるのに貢献した、そういう文言が書かれています。すぐお解り頂けますよね。45 年、46 年、極東からたくさんの人達西に運ばれた。本来であれば東で、日本に戻る人々が西に運ばれて各地で重労働に従事させられました。特にウズベキスタンではこのナボリ劇場だけではなくて、ナカバルという市には大きな水力発電所が造られています。

　ナカバル市の市長さんも日本人がこれだけ大きな貯水湖、水力発電所を造ってくれて、一日も休まずにウズベキスタン全域に電力を供給していますよと教えてくれました。

　ウズベキスタンには 13 か所日本人墓地があります。これはその水力発電所を造った時に亡くなった方々です。この後、日本人と一緒に働いたという 90 歳のお爺様がおられる。「会いますか」と言われて是非と言ってお訪ねしました。まず最初に日本人だと伝えました「お墓に行ってくれたか。」というのが最初の言葉でした。「今行って来ました。」と伝えましたら、あそこは自分のとっても大切な友人達が眠っているんだよ。と言うんですか…声が出ませんでした。

　ウズベグの人達が「日本人は素らしかった、嘘をつかない人達だったし、とてもいい物を造ってくれた人達だというような話をしてくれました。

　彼らが墓地を整備した後、訪ねてくれました。桜も植えたんですが、水がないもんで、みんなでバケツリレーをし、育ててくれたりしております。ここの桜は何本か残っています。

　桜は 1650 本、日本人のゆかりの土地に植えましたので、その中の半分くらいかな、今、花を咲かせています。

　ウズベキスタンの場合、この時の日本人達というのは、殆どが死亡した時の年齢は当時で 30 ちょっとです。ですから殆ど若い人達で 1928 年生まれという人が数人いました。

　親から日本人の人々は非常に規律正しい人々、礼儀正しい人、そして物を造るのがとても上手で、誰かが弱っていたらみんなで助け合っていた。それと監視の人が居ても居なくても、いいモノを造ってくれた。何かをあげれば必ず自分の出来ることでお返しをしっかりしてくる。そういう律義な人達です。「あなたも日本の人を見習って大きくなりなさい。」そう言って育てられてきました。そういう話が各地で伝わっています。

　13 か所お墓がありますからそこでそれぞれの場所で日本の若者達が働いていました。どこに行っても同じ答えが返ってきます。そんなこともあってウズベクの人々は非常に親日的しかも日本の人々のことを恥ずかしくなるほど信頼してくれています。

　ここで働いていた人々は一つの隊が固まって移動してきているわけではありません。混成部隊です。そして混成部隊ということは日本の一つの隊が特に良かった、そういう事ではないことを示しています。どの隊も同じように、そういう若者達がどこへ行っても同じ回答が返ってくる。一か所のモノだけではなく日本の当時働かされた若者達というのは、どこで、どこに行っても、どの隊をとっても同じだったんだと実感できます。

　中央アジアに働いた人達だけではなく朝鮮半島に居た人達も、中国に居た人達もみんな同じ教育を受け同じ考えで、日本にみんな同じ教育を受け同じ考えで、日本に帰れるかどうかも分からない中で、日本人として恥ずかしくない、そういう生活をし、恥ずかしくないモノを造ろうとして必死でがんばった。これが実態です。こういう中で住んでいますと、日本というものの素晴らしさというものを改めて思い知らされますし、今の日本をウズベクの人々が見てどう思うだろうかというような心配にもなりますし、そしてこの時の日本の在り方がいろいろ問題があったかも知れませんが、日本が持っているいいもの、当時頑張っていた日本の若者達、この人達にほんとうに敬意をはらい感謝をしたい素直にそんな気持ちになります。

本日はお話させていただく機会作っていただき真にありがとうございました。

（要約　澤口敏子）

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

後日談だが、百人の会理事長の辻先生（大阪市会議長）が、

「私も言葉使いを変える。恭子先生のように上品になる。」

と先日言われていましたが、さて！

各位からのレポート

96条改正は裏口入学？

H25-5-6　柏市議　上橋　泉

5月4日付けの朝日新聞は、2面で著名な憲法学者・小林節（慶応大学）の「96条改正は裏口入学」と題する寄稿を大きく載せている。小林節は、9条改正論者として自他共に認められている。

朝日新聞は、憲法改正阻止のためには敵も利用する狡猾な新聞だと思い知らされた。彼は、寄稿文でも、自分が9条改正論者であることを認め、安倍首相の目指すところが9条改正であることに賛意を示している。しかし、小林節は、安倍首相が直接9条改正を目指しても実現の見込みが皆無であるところから、便法として先ず96条改正し、その後は維新との連携で気に入らない憲法の条項を自在に改正して行こうすることは、裏口入学とも言うべき卑劣なやり方であると酷評している。

彼は、憲法改正の議会発議を一般の法律制定と同じ用件（議会の過半数）としている例は世界にないと言っている。

合衆国憲法でも、議会発議は上下両院それぞれ3分の2以上であり、全州の4分の3以上が賛成しないと修正できないことを指摘している。

日本国憲法より厳格な憲法改正要件が定められながらも、アメリカが日本国憲法制定以降の期間に6回も憲法を修正していることを示して、日本もこれを学ぶべきだと、小林節は言う。

小林節よ！

安倍首相に、その程度の知識すらもないとお前は思っているのか！　安倍首相は、お前の言うことは百も承知で、残念ながら、日本人が相手では、これ以外に憲法改正の道がないと苦渋の決断をしているのだ！

戦後の憲法改正論議を振り返って見ても、9条絶賛論者たちが、9条に宗教的情熱とも言うべき感情を見出していることに驚かされる。彼らの議論からは、合理的な統治の議論が全然聞こえてこない。この意味で、日本人は世界の中でも、類例を見出せない特殊な民族だ。

9条絶賛論者たちは、尖閣の危機的現状を承知しつつも、9条死守に宗教的情熱を傾けている。現実に尖閣が奪われても、沖縄・奄美・対馬・壱岐・隠岐と次々に離島が奪われて行っても、彼らは9条死守を変えないだろう。

小林節よ！

この度し難い人種を相手にしなければならない安倍首相の心中を察してみよ！　96条改正が裏口入学であることは、お前なんぞに言われなくとも、安倍首相は百も承知だ。それでも、日本をシナ・朝鮮による植民地化から守る為には、個人的評価を犠牲にしてでも、96条から憲法改正を果たさなければならないと決断された安倍首相は、アブラハム・リンカーンに匹敵する偉大な宰相だと私は評価する。

さすが上橋先生、実にすっきりする論評に敬服したい。皆、アカヒなどと馬鹿にしないで、「朝日新聞を読もう！」朝日が儲かるのは少々杓だが。

行きつけの喫茶店が客の要請で、産経から朝日に変わった。だからほとんど毎日（日々）朝日を読んでいる。そうすると世間一般の多数の人が何を考えているかよく分かる。良い悪いではなく、産経のほうが偏っているといわざるを得ない。販売数が全てだ。朝日の内容が変るか、販売数が逆転するか。そのときがわれらの勝利ではないか。　道は遠いが、がんばろう。朝日の憲法改正に関する記事を読んで。（増木）

「嫌韓デモ」について

H25-5-10　M情報　増木重夫

「嫌韓デモ」　国会で排外・人種侮蔑デモ抗議集会開催
2013.03.16　ニュースポストセブン

ここ最近、全国各所で「嫌韓デモ」が行われている。一部のデモでは、あまりに激しい口調のヘイトスピーチ（人種、皮膚の色、国籍、民族など、ある属性を有する集団に対して貶めたり暴力や差別的行為を煽動するような侮辱的表現を行うこと）や罵詈雑言の書かれたプラカードが掲げられることもある。

たとえば、2月9日に東京・新大久保で行われたデモでは日の丸や旭日旗を掲げ、「朝鮮人をガス室に送れ」というシュプレヒコールや「朝鮮人　首吊レ　毒飲メ　飛ビ降リロ」と書かれたプラカードを掲げる人が出た。2月24日に行われた大阪・鶴橋のデモは「鶴橋大虐殺をするぞ」といったコールも出た。

デモの参加者の論理としては、「数々の特権を持った在日韓国・朝鮮人によって、日本人が虐げられている」「在日韓国・朝鮮人によって、日本人が虐げられている」「在日韓国・朝鮮人の多くは反日の思想を持っているにもかかわらず、日本に居座り続けている。早く祖国へ帰るべきである」「少数民族である在日韓国・朝鮮人が日本の政財界やメディアを牛耳っており、多数派である日本人が虐げられている。これはまさに南アフリカのアパルトヘイトと同じ構図である」といったものがある。

しかし、この動きに反対する集会が3月14日、参議員会館で行われた。「排外・人種侮蔑デモに抗議する国会集会」と題されたこの集会は、参議員議員の有田芳生氏らが中心になって呼びかけられた。有田氏は前出のデモを「異常」と2月26日にツイッターで発言し、国会でもこの問題を取り上げることを表明しており、それが実行される形となった。

会の冒頭で有田氏は「放っておけばよい、という声もあるが、看過できない状態になっている」「『殺せ』などの発言は表現の自由の一線を超えた」などと、集会を呼びかけた理由を解説。その後、これらのデモに詳しいジャーナリストの安田浩一氏による基調報告や、弁護士の上瀧浩子氏や前出の金氏によるヘイトスピーチに対する法律的解釈も議論された。

そして、デモの映像を観たという右翼団体・一水会最高顧問の鈴木邦男氏は「映像を見て非常に悲しくなりました。日の丸の旗が可哀想だと思いました。日の丸は日本の優しさ、大和の国の寛容さを表すもの。それが排外主義的なものに使われている。日の丸が泣いていました。血の涙を流していました」と愛国者の立場からの疑問も呈された。

この件（ヘイトスピーチや罵詈雑言）に

関しては、全く同感で異常を感じる。安倍総理までもが国会で「極めて残念」と答弁する。彼らは言葉を知らないというのか、幼稚と言うのか、お調子者集団。彼らを「政治的デモ」と思わないで欲しい。まともな演説はもちろんできない。安全な場所で弱い連中をすき放題罵るしか脳がない。日ごろ注目してもらえないから、迷惑を掛けることで目立ちたい暴走族と全く同じ思考回路。暴走族で捕まっても死刑にはならないから。どうせやるならソウルの国会の前でやったら。5分で焼き殺されるだろうから。それこそそんな根性はないだろう。

3年ほど前、私はZ会の大阪支部長を仰せつかった。ところが日を追うごとにこのヘイトスピーチがだんだん激しさを増していく。これでは私の人格が疑われる。そのことを周囲に漏らしたのが会長の耳に入ったのだろう。支部長は、分けのわからない理由をつけて解任された。

こんなこと（ヘイトスピーチ）で自己主張しなくてももっと自己主張すべき場所や方法があるはずだ。周囲がどのくらい迷惑しているかを考えようともしない。いや、できない。私はここ3年ほど、ほとんどデモはしてない。たまに横断幕を陰干しするため、誰かのをお手伝いする程度。デモしたい事案は山ほどある。「やろう！」という声もある。しかしデモをやると周囲はこのようなお子ちゃま連中と同じに見てしまう。それは困る。私の活動生命が絶たれる。だからできない。

最近はほとんど目にしないが、数十年前に、ほとんど価格価値のないスクラップ寸前の中古車をシャコタンにしたり、目立つように改造し走り回るのが流行った。そんなゴミ車で勝負しないで、フェラーリかアストンマーチンで勝負しろ。できないのか「貧乏人」と思わず言いたくなる。もちろん私も買えないが。心が貧しい、卑怯者の集団だ。

一水会・鈴木氏が言うように「日の丸が泣いていました。血の涙を流していました。」まさにその通り。彼らこそ「国旗粗末扱い罪」で処罰すべきだ。

私は在日韓国・朝鮮人などに対し、故ある差別はする。徹底的にする。しかしそこには自ずから限度がある。根性がないわけでも、勇気がないわけでもない。成熟した国家の大人だから。人種、皮膚の色、国籍、民族などは差別の対象ではない。象徴的なのは生活保護費不正需給等、彼ら（在日韓国・朝鮮人など）の中の平気で特権を要求したり、団地で階段の掃除当番をしない連中。彼らは徹底的に差別すべきだ。「生活保護費を不正需給朝鮮人は日本海に叩き込め。」というならまだわからないでもない。朝鮮人の生活保護費受給者は、割合で日本人の数倍だから。

今まで、公然とZ会を批判したことはない。陰ではボロカスに言っているが。しかし、安倍さんに余計な心配を掛けさせるとなると、話は別だ。Z会は日本の恥だ。公安は徹底的に取り締まっていただきたい。

朝鮮人がそばに来るのはやっぱりイヤダ！

平成25年4月26日　M情報　増木重夫

今回は、一、豊中市民として書いてみたい。先ほど、行きつけのクルクルすしに行ってきた。時間の割にはまあまあ混んでいた。一角に言葉から韓国人の旅行者とわかる6人のグループがいた。

レーンからすしが流れてくる。流れてくる10皿程をを全部取る。そしてテーブルに並べワイワイと大声で話す。たぶん、ネタが大きいとか小さいとか言っているのだろう。そして、2～3皿を残し、激論の付録、たっぷり唾のかかった残りの7～8皿をレーンに返す。

私はたまたま風上、いやレーン上にいたので被害を免れたが、風下の客は、ハマチ朝鮮唾つき、鯛朝鮮唾つきをしっかり食べただろう。どんな味がしたかは知らないが。ひょっとすると私も一周した朝鮮唾付きマグロを食べたかも知れない。これだけは反吐が出る。服装が気に入らないとか、水の飲み方が気に入らないとか言うような話と次元が違う。唾付き蛸を食べても死ぬことはないと思うが、皆さん寛容できますか？

私は店長を呼んで、「今すぐつまみ出せ」と言ったが、店長逃げ腰。私も時間がなかったので、そのまま店を出たので店がどのように対処したかは知らない。

彼らが良い悪いではなく、文化の価値観が違う。座標軸のOの位置が違うのだ。対策は、文化の価値観だからそうそう変わるわけがない。彼らがいるレストランに我々日本人が入らないか、我々のいるレストランに彼らは入れない。それしかないと思う。

彼らは、持ち物から観光客とわかる。と言うことは旅行業者が入ってるはずだ。時差をあわせるのと同時に、最低限のマナーを教えておけ。でなければ、差別せざるを得ない。それは「差別ではない区別だ！」と言うならそれでいい。とにかくそばに来て欲しくない。

「差別がいけない。」という諸君！　彼らの風下、イヤ、レーン下ですしを食べてから言って頂きたい。

百人の会はなぜ「市民」の会

H25-4-10　和田朗子

百人の会に対する質問をここで答えるのもおかしな話ですが、ちょっと、公私混同します。先日和田さんから、次のような質問を頂きました。

「1つだけ気になることがあります。それは『・・・市民の会』という貴会の名称です。」私は次のように回答しました。

先ず、なぜ「市民の会」ではいけないのでしょうか。「市民」は左翼っぽく、「国民」は保守っぽいということでしょうか。極論になりますが、私達百人の会は保守ではありません。教育正常化のために現場での違法行為を追及し、1つ1つの問題に対し、是々非々で対処するNPO法人です。その結果、いわゆる保守活動になってしまいますが、それは結果論です。「従軍慰安婦の賠償をしろ。」「そういう事実はない。だから応じる必要はない。」「河野談話は事実ではない。だから河野談話は取り消せ。影響が大きすぎる。」と言うだけの話で呼称が「市民」であろうが「国民」であろうが我々の主張は変わりません。

15年前、百人の会を作るとき、呼称を「市民」にするか「国民」にするか、揉めに揉めました。右寄りがきつい人ほど「市民」に反対しました。しかし私は「市民」で押し切りました。なぜなら、「市民」のほうが言葉がやわらかいから。要は保守系の言葉遊びの自己満足にしたくないのです。余談ですが、私は「中国」と呼び、「シナ」とは言いません。もちろん「シナ」と言う人を批判はしません。頭にきたときは、マイクで

「チャンコロ出てけ～～！」

とたまに叫びますが。また、「大東亜戦争」とは言わず、「太平洋戦争」と言っています。もちろん言葉の意味は十分理解しています。問題は活動の内容です。短絡して（ふざけて）「百人の会の目的は日教組つぶし！」などと言っていますが、日教組つぶしが目的の会ではありません。日教組は法律に則った合法団体。だから「日教組潰し」と言えば、こっちが輩になってしまいます。しかしその日教組の中に違法行為をする連中があまりに多い。その違法行為がいけないので、その違法行為を徹底的に追及しようというわけです。その結果、日教組がつぶれてもそれは日教組の責任です。

和田様は「市民」という語の印象が良くないようですが、全国民からより多くの賛同を得ようと思えば「国民」にこだわらないほうが賢明だと思います。「市民」ではだれも引きませんが、「国民」というと「右翼っぽい」ということで引く人が多い。いい悪いは別にし、これが現実です。どっちみち国民はどこかの市民であり、また逆に市民は国民ですから・・。好き嫌いの問題なら、より多くの人が好む名称を選ぶべきで、名より実を取るほうが利口だと思います。

私が関与する会は、すべて「市民の会」です。「国民の会」と名乗る団体もたくさんありますが、少なくとも活動内容においては どこにも引けは取らないと自負しています。「結果が全て」と言えば、これも極論になってしまいますが、私達にとってもっとも大事なことは結果を出すことです。内容で、私どもが何を考えているか判断してください。

NPO法人百人の会　事務局長　増木重夫

【和田さんより】

「市民」のほうが活動を広げる目的にかなっているというお考え、よく分かりました。またこれまでの増木様のご活動を拝見し日本を良くしていこうという活動であることも納得できました。この点が最も心配なところでした。

やはり、言葉の選び方は、その方のお考えが現れるものだと改めて感じました。

また、このように丁寧にご説明いただき、ただ言葉を選ぶだけでは不十分で、なぜその言葉を選んだのかはめんどうなようでもその都度説明していかなければならないものだと思いました。

今となっては多くの日本人は「シナ」「大東亜戦争」と聞いて右翼といったイメージをなんとなく抱いて引いてしまう方が多いのでしょうけれど、じゃあ何故この言葉があるのか、その歴史的経緯を理解している方は少数です。そうであれば、少なくとも今の標準的使い方になっている「中国」「太平洋戦争」を使うということには大いに意味があることと思います。その後に、何故「シナ」「大東亜戦争」なのかと理解を深めていく方が自然なのだろうなと思いました。

どの言葉を使うかは別としましても、過去、現在、未来という流れの中で、今の自分たちを考えていくことは、右でも左でもなく、何が良いのか、何を大切にしていきたいのか、何を選ばなければならないのか、を判断する時に大きな力になる、という意味で、今現在あまり使われていない言葉の意味を知るということは大切なことと思います。増木様はその点も十分に理解されているということも分かりました。

【和田さんへ】

「右でも左でもなく、何が良いのか、何を大切にしていかねばならないのか。」を常に思っていかねばならないと思います。右翼の街宣車が大きな国旗を引きずって走っています。「オマエラ二度と国旗に触るな」と言いたくなります。

通常私は「太平洋戦争」と言っています。しかしそのとき、口では「学校でそう習ったもん。」と嘯いていますが、心の中では「申し訳ありません」。と思っています。ところが年に1回くらい靖国神社の前で演説をします。このときは別。「太平洋戦争」では許されない。これは何があっても「大東亜戦争」と呼ばなければならず、そのように呼んでいます。

運動を、保守系グループの誉めあいごっことでもいいましょうか、反日を言葉で貶して喜んでいるようなレヴェルにはしたくないのです。特に、議会で実りある成果を出そうと思ったら、どうでもいい部分は絶対突っ張らないこと、でないと、本末転倒になってしまいます。議会制民主主義においては、良い悪いは別にし、左系との対立ではなく、色町のやり手ばあさんのように、彼らを如何に引き込むかが重要だと思います。

パチンコ禁止！ウルトラC
市民生活を護る関西会議　細田政一

パチンコ店を韓国のように廃止させるのはなかなか難しい。そこで換金行為を禁止したら良い訳です。これならそんなに難しいことではないと思います。パチンコ店の特殊景品は、そのパチンコ店の裏にある小さな窓の店舗（?）でしか交換できません。だから「特殊交換札」。換金さえできなければ、子供も遊べる楽しい娯楽施設になるわけです。　ご検討を。

H25-4-10　マスキ

市民生活に悪影響を及ぼす、賭博性が高い、パチンコ店における出玉の換金行為を禁止する条例の制定を求める陳情

［陳情趣旨］

本陳情は、市内のパチンコ店において、日常的に行われている「特殊景品」等を媒介させる出玉の換金行為を廃止し、健全な遊戯施設とする事を求める陳情です。現在のパチンコ店においては、殆ど例外無く賭博営業が成立しております。パチンコ遊戯による出玉を、店内に於いて一定の景品（特殊景品）に交換し、それをすぐ近所の別営業主体の景品交換所で買い取らせる形で客に対して実質的な出玉の換金を行っており、これは事実上の賭博営業です。グアムなどにパチンコ店が存在していますが賭博として扱われ大変厳しい規制を受け、また中華民国や韓国では全面禁止になっております。

我が国では「三店方式が風俗営業法違反に当たらない」という判決はありますが、パチンコ営業が賭博罪によって起訴されたことがないため、直接的に「賭博にあたるか」と言う判例は未だ存在せず、グレーゾーンの元でパチンコ店が運営されております。

その賭博性の高い営業によって家庭が崩壊、乳幼児を自動車内へ放置等、事故が多発しており、兵庫県小野市では生活保護費がパチンコなどのギャンブルで浪費することを禁止する条例案が可決されております。

このように、誰の目から見ても明白に違法賭博行為であるパチンコ店は百害あって一利なしと言わざるを得ません。

［陳情事項］

パチンコ店が市民生活に悪影響を及ぼす事無く、健全な遊戯施設として存在させるため、その為に換金行為を禁止する条例の制定を求めます。

ＪＥＬＬＹの街頭演説

現代撫子倶楽部　中谷良子

H25-5-5
ＪＲ大阪駅阪神百貨店前にて

おはようございます。

梅田界隈ご通行中の皆様、大変お騒がせしまして申し訳ありません。私たちは日本を心から愛し、日本の子どもたちに真実の歴史知っていただき、誇りをもっていただきたいと願う大阪市民の集まりであります。

今日は GW 期間中ということで、たくさんのご家族連れがご通行中ですが、是非皆様のお子さんたちのためにもお聞きいただきますようお願いします。

さて、政治や日本の歴史に目を瞑るということは、日本の未来を捨てるのと同じだと思います。無知は罪です。

本題に入りますが、皆様、今の日本を取り囲んでいるお隣の国々をどう思われますか？　北朝鮮、韓国、中国。

まず北朝鮮は、横田めぐみさんをはじめとする多くの日本人、その数約８００人以上を拉致しました。平成１４年１０月に帰国された曽我ひとみさんはお母様と一緒に拉致されましたが、母親とは引き離されました。北朝鮮の工作員に母親の居場所を聞くと「年寄りは要らないから日本に帰した」と言うのです。そんなわけで、曽我さんが日本に帰国した際に母が迎えに来てくれるものと思っていたら、母親はいなかった。皆さん、その時の曽我さんのショックわかりますでしょうか？

自分の母親とやっと会えると思って日本に帰ってきたのに母親がいない、まんまと北朝鮮のスパイに自分が騙されていたのだと、曽我さんはその時に思い知らされたのでしょう。そして驚くべき事実として、曽我さんが帰国された時に、曽我さんを拉致した朝鮮人スパイがいたというのですから驚きで葉ありませんか。

今ここにいる私たちは美味しいものを好きなだけ食べ、家族で旅行に行ったり、楽しいことが好きなだけできます。しかし曽我ひとみさんはどうでしょうか？一生、母と引き離されたという過去を引きずりながら生きていかなくてはならないんです。

まだ北朝鮮にいる横田めぐみちゃんのご両親の気持ちは如何でしょうか？　家族を未だ北朝鮮から返してもらえない日本人拉致被害者、残されたご家族については皆様どう思われますか？

そして民主党の辻元清美議員、社民党党首の福島瑞穂議員は拉致問題に関し「北朝鮮には従軍慰安婦や植民地、強制連行の補償も何もしていないのだから、そのことをセットにせず、９人、１０人返せとばかり言ってもフェアじゃない」と過去に発言されました。皆さんどう思われますか？　辻元清美議員は「日本人になりたくない。地球人になりたい」と過去に発言されているのです。それならば宇宙人である鳩山元首相と宇宙ステーションに移住してください、とお願い申し上げたいですね。

高槻市で毎回当選されている辻元議員は過去にもこんな発言をしています。

「本当のことを言えば、１条から８条はいらないと思っています。天皇制を廃止しろとずっと言っています。日本国憲法は９条から始め、天皇は伊勢にでも行ってもらって、特殊宗教法人か何かになってもらう」

まさに日本人の思考では考えられない、日本人だとは思えない、日本人を装っているだけの議員です。

皆さんね、女性議員で「女性の権利が！」「子どもにも権利が！」と女性という性を前面に出し、弱者的きれいごとをスローガンに掲げているような民主党や社民党の女性議員に騙されてはいけません！

そしてこういったきれいごとを言って弱者を盾に票を集めているような醜い、人を利用することしか考えていないような民主党や社民党の女性議員は次の参院選で絶対に落とさなくてはなりません！

女性の権利、戦争反対などとを声高に訴え続け、煽動されている社民党の福島瑞穂さん、民主党の辻元清美さん、宝塚市長の中川智子さんのような議員こそ、自己満足の自分勝手な判断しかできないんです。こういったきれいごとを言って皆さんから集めた寄付が朝鮮系の組織などに「きれいごと利権」として上手く利用されていることに早く気付いてください。

日本で人さらい、人殺しをしておきながら、朝鮮総連があること自体おかしいと思いませんか？　韓国民団があること自体おかしいと思いませんか？　パチンコがあること自体おかしいと思いませんか？

朝鮮学校無償化、補助金を垂れ流すのはおかしいと思いませんか？

北朝鮮は、拉致以外にもミサイル撃つ撃つ詐欺、そして昔の日本軍の慰安婦強制連行が２０万人だという大嘘を世界に撒き散らしているんですよ！

２０万人の慰安婦が強制連行されたというのは朝鮮人の捏造です。仮に８万～２０万人の強制連行があったとすれば、その目撃者は最低数十万はいるはずです。しかし自称慰安婦が２００人以上名乗り出たのに対して、強制連行の目撃者は１人もいません。

お気に入りの『花魁』の衣装で奮闘中！

日本への渡航制限に、数万人規模の抗議集会があったのに対して、強制連行への抗議記録はないんですよ。

しかも社民党党首の福島瑞穂さんは「軍が関与しているのはこれまでの資料で明らかだ」と仰っていますが、その資料を出して国会などで事細かく説明するといった行動をとられておりません。

従軍慰安婦問題は日本と韓国の国交正常化以前でさえ出なかった問題です。一番激しかった李承晩政権は反日を国是としていたため、日本と国交正常化しなかったんです。そして日本に対して多額の賠償をしていました。その李承晩政権ですら「慰安婦問題」を1度も出していません。

李承晩政権が日本政府に過去の清算としての要求を網羅的にあげた「対日請求要綱」の中でも「慰安婦問題」についてはまったく取り上げられていません。

慰安婦問題というのは1983年に吉田清治が書いた「私の戦争犯罪～朝鮮人強制連行～」という本の中で昭和18年に韓国の済州島で日本の軍人が女性をトラックで連行したという「強制連行」が初めて出てきました。これを朝日新聞が例によって大々的に取り上げたのがきっかけとなり、世界に宣伝されてしまったのです。しかし吉田の著書が韓国で翻訳出版された際、それを読んだ韓国の済州新聞の女性記者が現地取材をした結果、吉田の証言はでっちあげであることが判明し、彼女は1989年8月14日の紙面に吉田証言を全面的に否定する記事を書いています。また、秦郁彦教授の現地検証でも捏造が証明され、吉田自身も嘘を認めました。ほかにも中村あきら氏、板倉よしあき氏、上杉千年氏らの検証によって、軍の命令系統から吉田の経歴に至るまですべて嘘であることが判明しています。嘘は嘘、捏造は捏造と日本が韓国へ主張しなければいけません。

80年代以降の中国の歴史カードは、でっちあげの「南京大虐殺」を筆頭に「三光作戦」「万人坑」「731部隊」と次から次へと追加されてきました。韓国は植民地支配の「日帝36年」の「七奪」、「首相靖国参拝」などが歴史カードでしたが、「従軍慰安婦」と「強制連行」の発見は、外交交渉の強力なカードに追加されました。この発見によって金と技術を取れるだけでなく、道徳的優位も確立できると思いついて韓国や中国は日本を貶め続けているのです。

よく私たちの反対の勢力が「愛国心はならず者の最後の隠れ蓑」と仰いますが、愛国心なき人のほうこそやっかいな存在です。自己信頼、独立自尊、母国愛と郷土愛、そして家族愛、これらは健全な心の証だと思います。

愛国心を否定する人は産業や豊かさのみならず国の存立もおびやかしてしまう危険をもった存在です。子どもたちに健全な愛国心を教えるというのは私たち大人にとって大切な使命だと思います。

皆様もご存知のとおり昨年の2月に名古屋市長の河村たかし氏が「南京大虐殺はなかった」と発言して南京大虐殺が大嘘であることを知った人も多いのではないでしょうか。

南京大虐殺というのはマンチェスター・ガーディアン紙の記者ティンパーリーが支那国民党からお金をもらって「戦争とは何か＝中国における日本軍の暴虐」という政治宣伝本を書いたのがもとになっています。

そして戦後まもなくの東京裁判で「南京大虐殺」としてでっちあげたのです。その後、「南京大虐殺」という大嘘は一人歩きし、日中国交回復期に朝日新聞が南京大虐殺を大々的に宣伝し、遂には教科書に載ることになってしまいました。この教科書に洗脳されてしまった人は多いことでしょう。

しかしながら、最近は維新の会の中山成彬議員が国会で慰安婦強制連行の嘘や南京大虐殺の嘘などを国会質疑の場で暴いてくださったので、ネットを通じて多くの人たちが南京の真実を叫び、日本人の覚醒を促しています。人口よりも多い人が殺されたなんて誰が聞いても捏造だとわかります。

広島の原爆での死者数は何万何千何百何十何人と下一桁まで判明しているのに、南京ではっきりしている見つかった遺体数は3000人だけです。それで南京大虐殺は真実だと訴えてくるんですから逆に凄いですよね。その根拠を物的証拠と共に説明して頂きたいですね。アウシュビッツは証拠がまるまる残っているのですが南京では何にもありません。

南京大虐殺では三十万人虐殺したと言われていますが、まだ原爆もなかった時代に、そんなことがどうして可能でしょうか。その原爆にしても、死亡者は一発で十万人です。それも人口密集地に使ったのです。また、虐殺された遺体はどこにあるのでしょうか。未だかつてまったく見つかっていません。また、そんな大量の遺体を短期間でどう処理したのでしょうか。しかも当時の日本は建設機械など持っていませんでした。つまり、処理作業もすべて手作業です。もし、それが本当にあったなら東京裁判で損害賠償請求をすればいいと思いますが、中国がそれを訴えなかったのもおかしな話です。

「南京大虐殺の証明」とされる写真を、鑑定している大学教授がいますが、最新鋭の技術で鑑定した結果、次々に捏造が発覚しているそうです。「南京大虐殺があった」と思われている方々に言いたいのは、南京大虐殺があったと言うなら、その証明をひとつでも提示してからにするべきです。捏造写真は何の証拠にもなりません。

とにかく日本の真実の歴史というのは、支那中国、旧ソ連、アメリカなどに封印されてしまって、今の日本の子供たちは真実の日本の歴史に目を瞑るような教育を受けさせられています。これは大きな問題です。

私たち大人が日本の子供たちのために真実を教えてあげられる世の中にしなくてはなりません。決して従軍慰安婦、南京大虐殺の嘘をタブーにしてはいけません。

最近どこを見ても中国人が多くなってきていると思われませんか？　中国人の犯罪が多くなってきていると思いませんか？　昔の日本では見られなかった支那中国人による凶悪犯罪が日本で横行していると思われませんか？　大阪の拘置所も支那中国人だらけだと聞きました。その他にも中国の毒食品事情や大気汚染問題、人権弾圧などのニュースは日を追うごとに加速しています。

中国人の拷問とは「生きたまま苦痛を与え、刃物で順番に肉を切り取っていく」というものです。死亡した時、最後に肉を切り取った人間は罰ゲームがあるようです。これが特殊な中国人だけの話だと思ったら大間違い。中国人の大部分が、日本人には何をしても構わないと教えられているのです。ご清聴感謝します。

川西市長にラブレター

H25-4-25 中曽千鶴子

4月16日

質問　川西市長殿

① 国際情勢・国防を脅かし、国民の安全・市民の安全・子供の安全を脅かす北朝鮮のミサイル問題に対する抗議声明をぜひ出していただきたい。

② 日朝友好議員連盟または日朝友好促進議員連盟というのが２００１年に発足し、当時、１８人の議員が参加したとなっております。拉致問題が表面化した今もこの日朝友好議員連盟または日朝友好促進議員連盟というのがあるのか、もしあるのであればその加盟している議員名をすべてお答えください。

尖閣問題、竹島問題等もありますが日韓友好議員連盟・日中友好議員連盟　、それぞれ、「促進」がついていたりついていなかったりと微妙な表現、名称は違うかもしれませんが、日中および　日韓の友好議連に入っている議員の名前を教えて下さい。よろしくお願いいたします。

中曽千鶴子

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

お返事　４月２５日

このたびは、「市長への提案」をいただき、ありがとうございました。

中曽様からいただきました北朝鮮のミサイル問題に対する抗議声明をぜひ出していただきたいとのご要望につきまして、本市は、非核平和都市として、世界の　あらゆる核実験に対し、過去から実施国に抗議文を送っておりますが、ミサイル実験につきましては、抗議文は送っておりません。また、日朝友好議員連盟、日　韓友好議員連盟及び日中友好議員連盟及び日中友好議員連盟の名簿につきましては、市として把握していませんので、ご理解いただきますようお願いいたします。

時節柄、ご自愛されますようお祈りいたします。

平成25年4月25日

中　曽　千　鶴　子　様

川西市長　大　塩　民　生

（担当所管　市民生活部人権推進室人権推進課生活活性室生活相談課）

私が住んでいる、兵庫県川西市の市長に出したお手紙ですが、北朝鮮のミサイルに対する市民の安全に対しての要望だったのですが、まず疑問。どうして北朝鮮のミサイル問題に

「市民生活部人権推進室人権推進課生活活性室生活相談課」

が返事するのでしょう?？

拉致問題について問うているのであれば日本で一番大切な人権侵害問であるという理由で「人権推進課」が答えるのは理解できます。が、北朝鮮からミサイルの脅威にさらされている今回のような市民の安全についても人権課の仕事なの？

千葉県、泉南市、八尾市、春日部市、仙台市　などなどと同様、川西市が、各市と同じ2-12に、核実験に対する抗議声明を出した事は知っています。

川西市ホームページを見ると、アメリカに対して何度も何度も核実験の抗議を出していることに気づきます。ところが、北朝鮮のミサイル開発や今回のミサイル発射通告に対する抗議は出していません。

ＨＰをよく読めば、北朝鮮を非難しているかのように見えますが、「核廃絶、核反対、非核三原則の日本の意思の強調、日本の核武装反対」を言及して、それを強調しているような内容であるということに気が付きます。

結局、「我々日本は核開発はしないのですよ。世界中の核に対して反対してるんですよ。だから核実験はお互いやめましょうよ。でも　ミサイルなら、どんどんやってもいいですよ。我々だって　自衛隊が訓練してるし、アメリカも訓練しているし、お互いさまよね。アメリカにも、核実験をやめるように再三、声明出してるんだから、川西市は自国の核武装も、アメリカに核で守ってもらうことも反対しているんだよ～。」という風に思ってしまうんです。私のうがった見方でしょうか。

活動資金ご協力のお願い

【ご支援等の口座】

郵便振替　００９８０８２４５５４７ MASUKI 情報デスク

三菱東京UFJ銀行 千里中央支店 ００４４３４９ 普通　増木重夫

先ずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。このレポートにもありますように、私どもは子供達に誇りある国を残すため、日々命がけで戦っています。ところが問題は活動資金。今まで以上にがんばります。何卒資金のご協力を伏してお願い申し上げます。

※　この、M情報機関紙は新聞の形態をとっていますが、「活動の報告書」です。特に「購読料」は設定していません。カンパをよろしくお願いいたします。

○　カンパ金の主な使途は下記団体の、

・活動の資料等の発送費・道路、公園使用申請料等・交通費、通信費資料、ビラ等の制作費・備品購入費

○　M情報が運営を行っている主な団体

・救う会大阪　・NO！　民主「桜組」

・靖国神社に眠る御霊に感謝する会

・米国に原爆投下謝罪を求める会

・大阪の公教育を考える会

・スパイ防止法の制定を求める会

・外国人参政権に反対する会・関西

・日教組の違法行為を追及する市民の会

・竹島を奪還する会・関西

・　改憲祈念の会

◇　前記口座、または同封の郵便振替にてご協力ください。

＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃

原稿・同封資料の募集について

弊会『M情報活動報告』は、現在のところ毎月月始めに全国約5千（目標1万）部発送しております。掲載ご希望の論文、情報等ございましたらどんどん表記事務所までお送りください。また、弊紙は郵メールで発送しています。重さ制限は５０ｇです。まだ余裕がございますので、資料等の同封が可能です。ご相談ください。

＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃＃

諸情報のメール配信について

弊『M情報』では、日々、全国各地の仲間から、または情報収集の専門家から情報が送られてきます。それをメールで転送します。内容はどこよりも詳しく多種多様。「量が多過ぎとお叱りを受けるのですが、試しに一度受信してみてください。ご不要でしたら即停止いたします。要領は次のアドレスに「メール希望」と空メールを（発信名義「NPO 法人百人の会」）。

h100prs@oregano.ocn.ne.jp